

高等学校 令和6年度（3学年用）教科

国語 科目 論理国語

教科： 国語 科目： 論理国語

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1・4組：佐々木) (2・3組：堀口) (5・6・6組：朝比奈)

使用教科書： (「論理国語」筑摩書房)

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使用しようとする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関りの中で伝え合う力を高めようとする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨こうとする。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けられている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、他者との関りの中で伝え合う力を高められている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話・聞	書 読						
1 学 期	「ことばへの問い」 【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 ことばによって語るという行為の意味を考える ・教材 教科書「新版六訂カラー版新国語便覧(第一学習社)」「現代文キーワード読解(Z会)」「大学入試漢字TOP2000(いっずな書店)」 ・一人1台端末の活用 等 生徒間の意見の共有・検討を一人1台端末を活用しておこなう		○	○	【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	10
	「ものごと」 【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 設定した題材に関連する複数の文章を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 ことばによって語るという行為の意味を考える ・教材 教科書「新版六訂カラー版新国語便覧(第一学習社)」「現代文キーワード読解(Z会)」「大学入試漢字TOP2000(いっずな書店)」 ・一人1台端末の活用 等 生徒間の意見の共有・検討を一人1台端末を活用しておこなう		○	○	【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 設定した題材に関連する複数の文章を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○	○	1
	「ポピュリズムとは何か」 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 抽象的な対象についての思考を具体的にまとめる力をつける ・教材 教科書「新版六訂カラー版新国語便覧(第一学習社)」「現代文キーワード読解(Z会)」「大学入試漢字TOP2000(いっずな書店)」 ・一人1台端末の活用 等 生徒間の意見の共有・検討を一人1台端末を活用しておこなう		○	○	【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	10
	「物語と歴史のあいだ」 【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 抽象的な対象についての思考を具体的にまとめる力をつける ・教材 教科書「新版六訂カラー版新国語便覧(第一学習社)」「現代文キーワード読解(Z会)」「大学入試漢字TOP2000(いっずな書店)」 ・一人1台端末の活用 等 生徒間の意見の共有・検討を一人1台端末を活用しておこなう		○	○	【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	10
定期考査						○	○	○	1	
	「思考の誕生」 【知識及び技能】	・指導事項 既成概念を覆す創造的な思考を身に			【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の					

府中 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史演習

教科：地理歴史 科目：日本史演習 単位数：6 単位

対象学年組：第 3 学年 必修選択

教科担当者：必選講座 手塚・百瀬・津川

使用教科書：（ 詳説日本史探究 山川出版社 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される主権者としての自覚を深める。

科目 日本史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される主権者としての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	近世への転換と歴史的環境 【知識及び技能】 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現すること。	織豊政権の成立前後からの歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する	近世への転換と歴史的環境 【知識及び技能】 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現すること。	○	○	○	23
	近世の国家・社会の展望と画期 【知識及び技能】 法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。	中世から近世への転換の理解や時代を通観する問い、(2) で表現した近世を展望する仮説を踏まえ、資料を扱う技能を活用し、近世の国家や社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察する	近世の国家・社会の展望と画期 【知識及び技能】 法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。	○	○	○	23
	定期考査および解説			○	○		1
	近現代の地域・日本と世界 【知識及び技能】 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。	幕末から近代初頭の時期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する	近現代の地域・日本と世界 【知識及び技能】 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。	○	○	○	23

	<p>近現代の地域・日本と世界</p> <p>【知識及び技能】 近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現すること。</p>	<p>政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、天皇を中心とした統一国家構想が生まれ、尊王攘夷運動や倒幕運動を経て明治維新に至った過程を扱い、「新政府はどのような国家を目指したのだろうか」などの課題（問い）を設定し、日本の対外政策の転換の影響や、幕府と藩による支配体制の行き詰まりを背景に、新たにどのような国家が構想されたのかを考察する</p>	<p>近現代の地域・日本と世界</p> <p>【知識及び技能】 近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現すること。</p>	○	○	○	23
	定期考査および解説			○	○		1
2 学 期	<p>近現代の地域・日本と世界の画期と構造</p> <p>【知識及び技能】 明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。</p>	<p>近世から近代への転換の理解や時代を通観する問い、近代を展望する仮説を踏まえるとともに、「歴史総合」での学習の成果を活用して、近現代の地域・日本と世界の相互の関係を構造的に整理し、多様な視点から歴史に関わる諸事象について深い理解を図る</p>	<p>近現代の地域・日本と世界の画期と構造</p> <p>【知識及び技能】 明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。</p>	○	○	○	23
	定期考査および解説			○	○		1
	<p>地域統合の進展と課題</p> <p>【知識及び技能】 恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。</p>	<p>第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する</p>	<p>地域統合の進展と課題</p> <p>【知識及び技能】 恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。</p>	○	○	○	23
	定期考査および解説			○	○		1
<p>国際環境の変化と日本</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化、(7)から(5)までの学習で見いだした画期などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の近現代を通じた歴史の画期を見いだし、根拠を示して表現すること。</p>	<p>戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割や、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の仕組み、国民生活の変容を理解する</p>	<p>国際環境の変化と日本</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化、(7)から(5)までの学習で見いだした画期などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の近現代を通じた歴史の画期を見いだし、根拠を示して表現すること。</p>	○	○	○	23	

	定期考査および解説			○	○		1
3 学 期	国際環境の変化と日本 【思考力、判断力、表現力等】 日本と世界の相互の関わり，地域社会の変化，(ア)から(エ)までの学習で見いだした画期などに着目して，事象の意味や意義，関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し，我が国の近現代を通じた歴史の画期を見いだし，根拠を示して表現すること。	戦前と戦後の国家・社会の変容，戦後政治の展開，日本経済の発展，第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割や、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係，現代の政治や社会の枠組み，国民生活の変容を理解する	国際環境の変化と日本 【思考力、判断力、表現力等】 日本と世界の相互の関わり，地域社会の変化，(ア)から(エ)までの学習で見いだした画期などに着目して，事象の意味や意義，関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し，我が国の近現代を通じた歴史の画期を見いだし，根拠を示して表現すること。	○	○	○	22
							合計 210

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 地理歴史 科目 世界史演習

教科：地理歴史 科目：世界史演習 単位数：6 単位

対象学年組：第3学年 1組～7組 選択者

教科担当者：辻

使用教科書：(詳説世界史 世界史探究、山川詳説世界史図録第5版)

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	アジア諸地域の繁栄と大航海時代・ルネサンス・宗教改革 【知識及び技能】 ティムール朝、サファヴィー朝、オスマン帝国、ムガル帝国の歴史について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパ人のアジア・新大陸進出と、世界の一体化の影響について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ルネサンスの思想や、芸術作品について調べさせる。	・ティムール朝、サファヴィー朝、オスマン帝国の興亡 ・ルネサンス ・大航海時代 ・宗教改革 パワーポイント、プリント、資料集	【知識及び技能】 ティムール朝、サファヴィー朝、オスマン帝国、ムガル帝国の歴史について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパ人のアジア・新大陸進出と、世界の一体化の影響について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ルネサンスの思想や、芸術作品について調べられている。	○	○	○	11
	主権国家体制の形成 【知識及び技能】 主権国家体制の形成や、スペインの歴史について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 イギリスの革命や、フランス絶対王政について考察させる。プロイセン、オーストリア、ロシアの歴史の相関性を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパ諸国のアジア・新大陸への進出や争いについて調べさせる。	・主権国家と封建国家 ・スペイン、イギリス、フランス、プロイセン、オーストリア、ロシア ・アジアへのヨーロッパの進出 パワーポイント、プリント、資料集	【知識及び技能】 主権国家体制の形成や、スペインの歴史について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 イギリスの革命や、フランス絶対王政について考察している。プロイセン、オーストリア、ロシアの歴史の相関性を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパ諸国のアジア・新大陸への進出や争いについて調べられている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	市民革命とナショナリズムの高揚 【知識及び技能】 イギリス産業革命の歴史や、アメリカ独立革命の歴史について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 フランス革命の背景、経緯、影響について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ナポレオンの歴史を通じて革命の精神が広まったことや、ナポレオンの征服活動と失敗について調べさせる。	・イギリス産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・ナポレオンの征服活動 パワーポイント、プリント、資料集	【知識及び技能】 イギリス産業革命の歴史や、アメリカ独立革命の歴史について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 フランス革命の背景、経緯、影響について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ナポレオンの歴史を通じて革命の精神が広まったことや、ナポレオンの征服活動と失敗について調べられている。	○	○	○	25
	近代国民国家の発展 【知識及び技能】 ウィーン体制、七月革命の歴史を通じ、自由主義や社会主義の高揚について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 二月革命を中心とする1848年の諸革命を通じ、国民主義や民族主義について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 アメリカ合衆国の拡大や南北戦争に至る南北の対立について調べさせる。	・ウィーン体制 ・ウィーン会議 ・七月革命と二月革命による自由主義の高まり ・1848年革命 パワーポイント、プリント、資料集	【知識及び技能】 ウィーン体制、七月革命の歴史を通じ、自由主義や社会主義の高揚について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 二月革命を中心とする1848年の諸革命を通じ、国民主義や民族主義について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 アメリカ合衆国の拡大や南北戦争に至る南北の対立について調べられている。	○	○	○	25
定期考査			○	○		1	
アジア諸地域の動揺・帝国主義 【知識・技能】 オスマン帝国やムガル帝国の衰退や植民地化について理解させる。 【思考・判断・表現】	・オスマン帝国やムガル帝国の衰退 ・東アジア世界の衰退と植民地化 ・アジア、アフリカ、太平洋分割 パワーポイント、プリント、資料集	【知識・技能】 オスマン帝国やムガル帝国の衰退や植民地化について理解している。 【思考・判断・表現】 清など東アジア世界で起こった衰退や植民地化について考察している。					

2 学 期	<p>何れと果ナンノ世界に恐つに衰退や植民地化について考察させる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>帝国主義によって生まれたれ教の対立が、世界大戦に影響御与えるまでを調べさせる</p>		<p>いく考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>帝国主義によって生まれたれ教の対立が、世界大戦に影響御与えるまでを調べられている。</p>	○	○	○	25	
	<p>二つの世界大戦</p> <p>【知識・技能】</p> <p>第一次・第二次世界大戦の歴史と、初の社会主義革命の勃発について理解させる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>ヴェルサイユ体制の成立や戦間期の諸国の政策について考察させる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>大戦後のアジア各国の民族・独立運動や世界恐慌と世界に与えた影響の歴史について調べさせる。</p>	<p>・第一次世界大戦の流れ</p> <p>・第二次世界大戦の流れ</p> <p>・ヴェルサイユ体制の成立</p> <p>・大戦後のアジア各国</p> <p>パワーポイント、プリント、資料集</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>第一次・第二次世界大戦の歴史と、初の社会主義革命の勃発について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>ヴェルサイユ体制の成立や戦間期の諸国の政策について考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>大戦後のアジア各国の民族・独立運動や世界恐慌と世界に与えた影響の歴史について調べられている。</p>	○	○	○	30	
	<p>定期考査</p>			○	○		1	
	<p>戦後世界の展開</p> <p>【知識・技能】</p> <p>国際連合の成立と、米ソ冷戦の開始について理解させる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>20世紀半ばの第三世界の台頭と冷戦への影響、またソ連崩壊後の世界について理解させる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>冷戦や戦後世界の展望が現代にどのようなつながりがあるかを調べさせる。</p>	<p>・国際連合</p> <p>・戦後の冷戦の勃発</p> <p>・第三世界の台頭</p> <p>・ソ連崩壊後の世界</p> <p>パワーポイント、プリント、資料集</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>国際連合の成立と、米ソ冷戦の開始について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>20世紀半ばの第三世界の台頭と冷戦への影響、またソ連崩壊後の世界について理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>冷戦や戦後世界の展望が現代にどのようなつながりがあるかを調べられている。</p>	○	○	○	30	
	<p>【知識・技能】</p> <p>入試問題演習に取り組み、これまでの内容随復習し、学力を高める。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>史資料の読解を通して、歴史的な視点からの考察力を高める。</p>	<p>・大学入試演習</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>入試問題演習に取り組み、これまでの内容随復習し、学力を高める。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>史資料の読解を通して、歴史的な視点からの考察力を高める。</p>	○	○		25	
	<p>定期考査</p>			○	○		1	
	3 学 期	<p>【知識・技能】</p> <p>入試問題演習に取り組み、これまでの内容随復習し、学力を高める。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>史資料の読解を通して、歴史的な視点からの考察力を高める。</p>	<p>・大学入試演習</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>入試問題演習に取り組み、これまでの内容随復習し、学力を高める。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>史資料の読解を通して、歴史的な視点からの考察力を高める。</p>	○	○		10
								10
								合計
								210

高等学校 令和6年度 教科

公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済

単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 必修選択

教科担当者：江川

使用教科書：『最新政治・経済資料集2023』（第一学習社）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】社会的な事象を理解する上での基礎的な知識および資料を読み取る技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】社会的課題に対して、資料やデータに基づき、自分なりの考えを持つ力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】自分とは立場や環境が異なる人々の視点を想像しつつ、社会的な課題について考える姿勢を身に付ける。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の社会における社会制度などの背景にある思想や理念を理解した上で、歴史的な資料や法的な文章、経済指標などのデータを正確に読み取る力を身に付ける。	現代の社会的課題に対して、法的な文章や経済指標、過去の思想家の主張などを踏まえた上で自分なりの意見を持つことができる。	社会的な課題に直面している人々の立場に立ち、多角的・多面的な視点で物事を捉えようとする姿勢を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
世界の政治制度 大日本帝国憲法と日本国憲法 【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	・議院内閣制と大統領制の比較をすることができる。 ・世界の政治体制の特徴を理解する。 ・大日本帝国憲法の成立とその特徴について理解する。 ・日本国憲法の成立とその特徴について理解する。	【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	○	○	○	10
民主主義と議会制民主主義 内閣と行政の民主化 【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	・民主主義の意義と議会制民主主義の特徴を理解できる。 ・日本の国会の特徴と課題からよりよい立法府の在り方について考えることができる。 ・日本の議院内閣制の特徴を理解できる。 ・近年の行政改革の長所と短所を踏まえ、行政府が抱える課題について考えることができる。	【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	○	○	○	14
1 学期 定期考査			○	○		2
裁判所と人権保障 地方自治と住民の福祉 【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	・日本の司法制度の特徴を理解できる。 ・司法権の独立が掲げられる意義を判例などから読み取ることができる。 ・地方自治の本旨に基づいた地方自治の理念について理解できる。 ・日本の地方行政が抱える課題について考え、自分なりの考えを持つことができる。	【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	○	○	○	10
国家主権と国際法 国際連合の役割 【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	・国家主権（対外的主権）の意味を理解できる。 ・国際法の歴史と現代社会における役割を理解できる。 ・国際連盟と比較した国際連合の機能を理解できる。 ・現在の国際連合が抱える課題について理解できる。	【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○		2
核兵器の廃絶と国際平和 地域紛争と南北問題 【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	・核軍拡、核軍縮の歴史と課題を理解できる。 ・NGOなどが国際平和への取り組みに貢献していることを踏まえ、自分ができることを考える。 ・世界各地で起きている地域紛争の背景が多様であることを理解できる。 ・紛争の背景にある人種・民族問題や経済格差があることを理解できる。	【知識及び技能】 基本的な用語の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データや資料から特徴や問題点を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と学習内容を結び付けて、理解しようとしている。	○	○	○	10

府中 高等学校 令和6年度 (3学年用) 教科 地理歴史 科目 教養近現代史

教科: 地理歴史 科目: 教養近現代史 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 3 学年 必修選択
 教科担当者: 必選講座
 使用教科書: (「明解 歴史総合」(帝国書院))
 教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 教養近現代史 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・第二次世界大戦後の世界の変遷について、現在の世の中とのつながりを理解する。 ・写真や映像資料から当時の社会の特徴を読み取ることができる。	・近現代の歴史的な事象が現在の社会にどのような影響をもたらしているかを考えることができる。 ・写真や映像資料を通して、自分が考えたことや感じたことを表現することができる。	・近現代の社会課題について、自分にとって身近な問題であるという意識を持ち、向き合うことができる。 ・歴史を通して、人間の多様性を重視する態度を醸成する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
形成される戦後秩序と戦後の日本 【知識及び技能】 戦後の方針を決定付ける動きが戦争末期にあったことを理解する。 戦後日本の復興とGHQの関係性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。	・第二次世界大戦末期の冷戦につながる国家間の対立 ・戦後日本の占領統治と戦後復興	【知識・技能】 戦後の方針を決定付ける動きが戦争末期にあったことを理解する。 戦後日本の復興とGHQの関係性を理解する。 【思考・判断・表現】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。	○	○	○	6
冷戦で揺れる世界と日本 【知識及び技能】 米ソの関係に変化によって起きる世界情勢の変化を理解する。 日本の復興がどのように進んだのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。	・冷戦の緊張緩和と第三世界の台頭 ・冷戦下における日本の復興	【知識・技能】 米ソの関係に変化によって起きる世界情勢の変化を理解する。 日本の復興がどのように進んだのかを理解する。 【思考・判断・表現】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。	○	○	○	6
1 学期 定期考査および解説			○	○		2
ベトナム戦争に揺れるアメリカと経済大国としての日本 【知識及び技能】 ベトナム戦争がアメリカに与えた影響について理解する。 経済大国になった日本とアメリカの間の摩擦について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。	・ベトナム戦争への参戦により揺らぐアメリカの権威とその後の中華人民共和国との関係の変化 ・経済成長を遂げた日本とアメリカの関係の変化	【知識・技能】 ベトナム戦争がアメリカに与えた影響について理解する。 経済大国になった日本とアメリカの間の摩擦について理解する。 【思考・判断・表現】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。	○	○	○	6
冷戦期のアジア・南米諸国の成長とイスラーム諸国の変容 【知識及び技能】 冷戦期におけるアジア・南米諸国の経済成長の要因を理解する。	・冷戦期におけるアジア・南米諸国の経済成長とその背景 ・冷戦下で独自路線を歩むイスラーム世界の動乱	【知識・技能】 冷戦期におけるアジア・南米諸国の経済成長の要因を理解する。 イスラーム諸国が米ソの間でどのように変化していったかを理解する。				

	<p>イスラーム諸国が米ソの間でどのように変化していったかを理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。</p>	<p>【思考・判断・表現】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。</p>	○	○	○	8	
	定期考査および解説		○	○		2	
2 学 期	<p>冷戦の終結と世界の変化</p> <p>【知識及び技能】 冷戦の終結とそれに続いたソ連の解体の背景を理解する。 冷戦後に台頭した国々の変化について理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。</p>	<p>・冷戦の終結とその後起きたソ連の解体の背景 ・冷戦終結およびソ連の解体によって変化した世界の様相</p>	<p>【知識・技能】 冷戦の終結とそれに続いたソ連の解体の背景を理解する。 冷戦後に台頭した国々の変化について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。</p>	○	○	○	6
	<p>アメリカと中東の関係</p> <p>【知識及び技能】 アメリカの中東への介入の歴史を理解する。 アメリカ同時多発テロの発生とその後の戦争について理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。</p>	<p>・石油利権をめぐるアメリカの中東への介入の歴史 ・中東地域の混乱とアメリカ同時多発テロ</p>	<p>【知識・技能】 アメリカの中東への介入の歴史を理解する。 アメリカ同時多発テロの発生とその後の戦争について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。</p>	○	○	○	8
	定期考査および解説		○	○		2	
	<p>地域統合の進展と課題</p> <p>【知識及び技能】 EUの成立の背景について理解する。 現在、EUが抱える課題について理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。</p>	<p>・地域統合のモデルケースとして登場したEUの軌跡と現代の課題 ・グローバル化の中で進む地域経済統合</p>	<p>【知識・技能】 EUの成立の背景について理解する。 現在、EUが抱える課題について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。</p>	○	○	○	6
<p>国際環境の変化と日本</p> <p>【知識及び技能】 冷戦後の世界における日本の立場と国際貢献のあり方について理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。</p>	<p>・冷戦終結後の国際社会における日本の在り方 ・グローバル化が進展する中での日本の役割</p>	<p>【知識・技能】 冷戦後の世界における日本の立場と国際貢献のあり方について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。</p>	○	○	○	8	
定期考査および解説		○	○		2		
	<p>グローバル化による国際社会の変容</p> <p>【知識及び技能】 グローバル化が進展する世界の中で起きている課題を理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。</p>	<p>・グローバル化が進展する中で世界の中に巻き起こる反グローバル化とポピュリズムの波について</p>	<p>【知識・技能】 グローバル化が進展する世界の中で起きている課題を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料などから当時の社会情勢を読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考</p>				

3 学 期	読み取ることができる。 当時の人々の生活などを想像し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。	スを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史が現在の自分が生きる社会につながっていることを意識する。	○	○	○	8
						合計 70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅲ

教科： 数学 科目： 数学Ⅲ 単位数： 6 単位
 対象学年組： 第 3 学年 3 組～ 5 組
 教科担当者： (α : 畠山) (β : 長谷川) (組 :) (組 :) (組 :) (組 :)
 使用教科書： (数研出版 NEXT数学Ⅲ)

- 教科 数学 の目標：
- 【知識及び技能】 数学の基本的概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に解釈し表現・処理する技能を身につける。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して、事象および事象間の関係を論理的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に数学を活用する態度、問題解決の過程を振り返り評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法、2次曲線、複素数平面についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 数列の極限 数列の極限の概念を理解し、様々な数列の極限が求められるようにする。無限級数については、その極限と各項の極限との関係を理解し、正しく考察できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・数列の極限 ・無限等比数列 ・無限級数 	【知識・技能】 数列の極限、無限等比数列、無限級数についての用語や表記および ∞ の意味、収束・発散について理解し、数列の極限を調べることができる。 【思考・判断・表現】 工夫して式変形し、数列の極限を求めることができる。簡単に求められない場合、はさみうちの原理を用いることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な数列について、 n が大きくなるときに第 n 項がどのようになるかに興味をもち、積極的に調べようとする。	○	○	○	16
B 関数 分数関数や無理関数の性質を理解し、それを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、関数の一般的な性質として逆関数や合成関数などについて理解し、事象の考察に活用できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・分数関数 ・無理関数 ・逆関数と合成関数 	【知識・技能】 分数関数、無理関数の定義域について理解し、簡単なグラフをかくことができる。逆関数・合成関数の定義や、定義域、値域について理解し、具体的に求めることができる。 【思考・判断・表現】 方程式や不等式の解と関数のグラフの関係を正しく理解し、方程式、不等式を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 方程式や不等式の考察に、積極的に関数のグラフを活用しようとする。	○	○	○	10
C 関数の極限 数列の極限と関連させて関数の極限について理解し、関連して関数の連続性についても理解するとともに、それらを様々な関数の考察に活用できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の極限 ・三角関数と極限 ・関数の連続性 	【知識・技能】 右側極限、左側極限について理解し様々な関数について、それぞれの極限を求めることができる。 【思考・判断・表現】 不定形を解消するように工夫して式変形し、 $x \rightarrow \pm\infty$ のときの関数の極限を求めることができる。中間値の定理を直感的に理解し、それを用いて解の存在について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 簡単に求められない極限について、様々な角度から検討しようとする。連続でない関数があることに興味をもち、グラフを用いてそのことを調べようとする。	○	○	○	16
D 微分法	<ul style="list-style-type: none"> ・微分係数と導関数 ・導関数の計算 ・いろいろな導関数 ・第n次導関数 ・曲線の方程式と導関数 	【知識・技能】 関数が微分可能であることと連続であることの関係について理解し、関数が微分可能でないことを示すことができる。定義にしたがって導関数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 学んだ公式を組み合わせることで、どのような関数を微分できるようになったか認識し、どの公式を用いるか判断して関数の微分ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 導関数の性質について、証明しようとする。	○	○	○	24
定期考査			○	○		1
E 2次曲線	<ul style="list-style-type: none"> ・放物線 ・楕円 ・双曲線 ・2次曲線の平行移動 ・2次曲線と直線 ・2次曲線と離心率 ・曲線の媒介変数表示 ・極座標と極方程式 ・コンピュータの利用 	【知識・技能】 2次曲線の特徴や性質を理解し、様々な方程式で表すことができる。 【思考・判断・表現】 条件を満たす点の軌跡として、2次曲線の方程式を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な2次曲線の概形を考察しようとする。	○	○	○	20

1 学期

高等学校 令和6年度（3学年用）教科

数学

科目 数学応用

教科：数学

科目：数学応用

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 3 組～ 5 組

教科担当者：（ α：畠山 ）（ β：長谷川 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 数研出版 NEXT数学Ⅲ ）

教科 数学

の目標：

- 【知識及び技能】 数学の基本的概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に解釈し表現・処理する技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して、事象および事象間の関係を論理的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に数学を活用する態度、問題解決の過程を振り返り評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学応用

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法、2次曲線、複素数平面についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 数列の極限 数列の極限の概念を理解し、様々な数列の極限が求められるようにする。無限級数については、その極限と各項の極限との関係を理解し、正しく考察できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・数列の極限 ・無限等比数列 ・無限級数 	<p>【知識・技能】 数列の極限、無限等比数列、無限級数についての用語や表記および∞の意味、収束・発散について理解し、数列の極限を調べることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 工夫して式変形し、数列の極限を求めることができる。簡単に求められない場合、はさみうちの原理を用いることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な数列について、nが大きくなるときに第n項がどのようになるかに興味をもち、積極的に調べようとする。</p>	○	○	○	16
B 関数 分数関数や無理関数の性質を理解し、それを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、関数の一般的な性質として逆関数や合成関数などについて理解し、事象の考察に活用できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・分数関数 ・無理関数 ・逆関数と合成関数 	<p>【知識・技能】 分数関数、無理関数の定義域について理解し、簡単なグラフをかくことができる。逆関数・合成関数の定義や、定義域、値域について理解し、具体的に求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 方程式や不等式の解と関数のグラフの関係を正しく理解し、方程式、不等式を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 方程式や不等式の考察に、積極的に関数のグラフを活用しようとする。</p>	○	○	○	10
C 関数の極限 数列の極限と関連させて関数の極限について理解し、関連して関数の連続性についても理解するとともに、それらを様々な関数の考察に活用できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の極限 ・三角関数と極限 ・関数の連続性 	<p>【知識・技能】 右側極限、左側極限について理解し様々な関数について、それぞれの極限を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 不定形を解消するように工夫して式変形し、$x \rightarrow \pm\infty$のときの関数の極限を求めることができる。中間値の定理を直感的に理解し、それを用いて解の存在について考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 簡単に求められない極限について、様々な角度から検討しようとする。連続でない関数があることに興味をもち、グラフを用いてそのことを調べようとする。</p>	○	○	○	16
D 微分法	<ul style="list-style-type: none"> ・微分係数と導関数 ・導関数の計算 ・いろいろな導関数 ・第n次導関数 ・曲線の方程式と導関数 	<p>【知識・技能】 関数が微分可能であることと連続であることの関係について理解し、関数が微分可能でないことを示すことができる。定義にしたがって導関数を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 学んだ公式を組み合わせることで、どのような関数を微分できるようになったか認識し、どの公式を用いるか判断して関数の微分ができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 導関数の性質について、証明しようとする。</p>	○	○	○	24
定期考査			○	○		1
E 2次曲線	<ul style="list-style-type: none"> ・放物線 ・楕円 ・双曲線 ・2次曲線の平行移動 ・2次曲線と直線 ・2次曲線と離心率 ・曲線の媒介変数表示 ・極座標と極方程式 ・コンピュータの利用 	<p>【知識・技能】 2次曲線の特徴や性質を理解し、様々な方程式で表すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 条件を満たす点の軌跡として、2次曲線の方程式を求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な2次曲線の概形を考察しようとする。</p>	○	○	○	20
F 微分法的应用	<ul style="list-style-type: none"> ・接線の方程式 ・平均値の定理 ・関数の値の変化 ・関数のグラフ ・方程式、不等式への応用 ・速度と加速度 ・近似式 	<p>【知識・技能】 増減や凹凸、漸近線などを調べて、関数のグラフをかくことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 平均値の定理を用いた不等式の証明ができる。また、不等式が証明できている理由を理解し、説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 関数のグラフの増えかたや減りかた、極値や鞍点を</p>	○	○	○	28

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学演習α

教科： 数学 科目： 数学演習α 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 必修選択

教科担当者： (麻生 雅之)

使用教科書： (リンク数学演習Ⅰ・A 受験編)

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学の基本的概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に解釈し表現・処理する技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して、事象および事象間の関係を論理的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に数学を活用する態度、問題解決の過程を振り返り評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学演習α の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学Ⅰや数学Aについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけ、来るべく共通テストに備える。	命題、図形の性質や計量、関数関係やデータの散らばりや変量間の関係など、様々な事象について論理的に考察して表現する力、問題の解決過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 1. 数と式 【知識及び技能】 ・乗法公式と因数分解の反復演習を行い、計算力の向上をめざす ・平方根、分母の有理化、二重根号の計算の習熟をはかる ・1次不等式・2次不等式・連立不等式の解法力の向上をめざす 【思考力、判断力、表現力等】 ・式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする ・不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察する ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用する 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	12
B 単元 2. 集合と命題 【知識及び技能】 ・命題の真偽判定、逆・裏・対偶の述べ方、必要・十分条件に関する演習問題の習熟をめざす ・対偶利用証明法、背理法の活用の習熟をめざす。 【思考力、判断力、表現力等】 ・集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明する 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
1 学期 C 単元 3. 2次関数 【知識及び技能】 ・平方完成、平行移動、対称移動、放物線の方程式の決定等問題解法力の向上をめざす ・定義域制限があるときの最大値・最小値の求値方法の習熟をめざす ・2次方程式の解の特性、不等式と2次関数との関係を理解し応用力向上をめざす 【思考力、判断力、表現力等】 ・2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフかくなどして多面的に考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	12

<p>D 単元 4. 図形と量</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する ・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する ・正弦定理や余弦定理について理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求める <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導く ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物 	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
<p>E 単元 5. データの分析</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解する ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりする ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物 	○	○	○	14
<p>F 単元 6. 場合の数と確率</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解する ・具体的な事象を基に順列及び組合せの総数を求めること <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物 	○	○	○	13
定期考査			○	○		1
<p>G 単元 7. 第2章 図形と性質</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円に関する基本的な性質について理解する ・空間図形に関する基本的な性質について理解する <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したりする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・課題演習 ・提出物 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	14

	<p>員について論理的に考察したり説明したりする</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む 学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする 課題や提出物に対し前向きに取り組む 		<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中の取り組み 課題演習 提出物 	○	○	○	11
	<p>H 単元 8. 数学と人間の活動</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解する 数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深める <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察する パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察する <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む 学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする 課題や提出物に対し前向きに取り組む <p>定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 教材 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 課題演習 提出物 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 課題演習 提出物 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中の取り組み 課題演習 提出物 	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>I 単元 9. 補充問題</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> タイプ別問題の反復演習を行い、総合問題の解法力向上をめざす 上級学校入試過去問題演習を通して解法力向上をめざす。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入試問題演習を通じて、素早く正確に解く力を身に付けさせる <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む 学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする 課題や提出物に対し前向きに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 教材 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 課題演習 提出物 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 課題演習 提出物 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中の取り組み 課題演習 提出物 	○	○	○	36
							合計
							140

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学演習β

教科： 数学 科目： 数学演習β 単位数： 6 単位

対象学年組： 第 3 学年 組～ 組

教科担当者： (①：畑中) (②：松木) (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書： (リンク数学演習ⅠAⅡBC)

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学演習β の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学ⅠⅡABCにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

1 学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		数の範囲を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の計算ができるようにする。また、複素数を用いて、1次方程式やその解についてより一般的に考察できるようにする。 高次方程式を、因数分解などの方法でより低い次数の方程式に帰着することで解いたり、その解について考察したりできるようにする。	数学Ⅱ ・式と証明 ・複素数と方程式	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○
	座標や式を用いて、円についてその性質を数学的に表現できるようにし、直線との関係、円どうしの関係など事象の考察に活用できるようにする。 図形を与えられた条件を満たす点の集合として認識し、軌跡の方程式が求められるようにする。また、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解する。さらに、軌跡や領域を事象の考察に活用できるようにする。 微分係数や導関数の意味について理解し、多項式で表された関数の導関数が求められるようにする。また、関数のグラフの接線が求められるようにする。 導関数を用いて、関数の値の増減が調べられるようにする。また、それを用いて関数のグラフをかいたり、さらにグラフを種々定期考査	数学Ⅱ ・図形と方程式 ・微分法と積分法	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	22
	角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について理解し、それらを多面的に考察できるようにする。 指数を実数まで拡張する意義を理解し、指数関数を事象の考察に活用できるようにする。 対数の定義とその性質を理解し、対数関数、特に常用対数を事象の考察に活用できるようにする。	数学Ⅱ ・三角関数 ・指数関数と対数関数	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	22
	向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し、成分表示も含めてベクトルの演算ができるようにする。また、ベクトルの内積について理解し、平面上のベクトルのなす角について考察できるようにする。 平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また、それに関連して、座標空間における点や図形について考察できるようにする。	数学C ・平面上のベクトル ・空間のベクトル	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	数列、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数学B ・数列 数学A ・場合の数と確率	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	44

高等学校 令和6年度（3学年） 教科 理科 科目 物理

教科：理科 科目：物理 単位数：4 単位
 対象学年組：第3学年 組～組 必選
 教科担当者：（必選：宮崎）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）
 使用教科書：（総合物理1、2 数研出版）

教科 理科 の目標：
【知識及び技能】 自然の事物や現象に対する興味を持ち、原理・法則を基に理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験、観察に関する基本的な知識・技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象の中に法則性を見出し、法則性をもとに自然をとらえ、得られた結果を他人に説明できるよう表現力を身に付けさせる。
【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に興味を持ち、奇襲の知識などで理解しようとする態度を養う。その際に、他の人達と協力し合って探求する姿勢を育てる。

科目 物理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象に関わり、物理の見方・考え方を働かせ、法則によって理解したり、観察・実験を通して理解しようとする態度や技能を身に付けるようにする。	教科にしばられず、さまざまな事物・現象に興味を持ち、物理との関連を見いだして物理的に理解を深めそれを表現できる力を養う。	物理の基本的な知識や考え方を、きちんと理解しようとする態度を養う。その際、身近な級友と協力し合う姿勢を育てる。さらに、日常的に社会と教科の関連に興味を持たせる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	第1編 力と運動 第5章 円運動と万有引力 1. 等速円運動 2. 慣性力 3. 単振動 【知識及び技能】 物体の運動を定量的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の運動を式やグラフで表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習したことを、日常生活の運動にあてはめて考える。	・指導事項 平面上で生じる等速円運動を、どのように分析、解釈するか考え方を身につけさせる。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用等 授業スライドの表示	【知識・技能】 等速円運動の速度から、加速度の大きさは変わらず、その向きが中心に向くことを理解できる。 慣性力の向きと大きさを理解している。 【思考・判断・表現】 等速円運動の運動方程式について理解し、取り扱うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの現象に対し、等速円運動の運動方程式をあてはめて特徴を捉える 周囲の人と協力して疑問を解決する	○	○	○	13
	第1編 力と運動 第5章 円運動と万有引力 4. 万有引力 第4章 運動力の保存 1. 運動量と力積 2. 運動量保存 3. 反発係数 【知識及び技能】 物体の運動を定量的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の運動を式やグラフで表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習したことを、日常生活の運動にあてはめて考える。	・指導事項 円運動の知識を用い、天体の運動を説明する。この説明より導かれる万有引力について理解させる。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用等 授業スライドの表示	【知識・技能】 衝突前後の物体の運動について、運動量や力積から計算ができる。 【思考・判断・表現】 物体の衝突について、運動量や反発係数を用いて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な運動を、グラフや式で表現しようとする。 周囲の人と協力して疑問を解決する。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	第2編 熱と気体 第2章 気体のエネルギーと状態変化 1. 気体の法則 2. 気体分子の運動 3. 気体の状態変化 【知識及び技能】 気体の性質を定量的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 気体の性質を分子の運動から理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 三重なり気体分子の運動を思考によって想像する。	・指導事項 気体の法則について理解させる。気体の法則について、気体分子の運動から説明できることを示す。これらの指導を通して、現象をより基本的なものから説明できることを示す。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用等 授業スライドの表示	【知識・技能】 気体の性質や現象を、気体分子の運動から計算できる。 【思考・判断・表現】 気体分子の運動を基に、気体の性質がどのように表れるか想像し、それを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 気体分子の運動を想像し、そこから表れる期待の性質について主体的に考える。	○	○	○	13
第3編 波 第3章 光 1. 光の性質 2. レンズと鏡 3. 光の干渉と回折 【知識及び技能】 光の干渉条件を計算に用いる。 【思考力、判断力、表現力等】 光の干渉性を波動の性質から説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 光の干渉状態から、現象を理解する。	・指導事項 光には動的な性質があることを示す。特に光の干渉性について理解を深め、光の干渉性により生じる現象について定性的な理解の上で、定量的に説明できるようにする。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用等 授業スライドの表示	【知識・技能】 光の持つ性質や、表す現象を知り、これらが波の性質から現れることを知る。また、現れる現象を計算により求めることができる。 【思考・判断・表現】 光の表す現象について、波動的な性質から定性的に説明をする。 【主体的に学習に取り組む態度】 光の表す現象や性質について興味を持ち、自ら簡単な実験をして確認をする。また、現象について自分の知識で説明しようとする。	○	○	○	14	
定期考査			○	○	○	1	

2 学 期	<p>第4編 電気と磁気</p> <p>第1章 電場</p> <p>1. 静電気力</p> <p>2. 電場</p> <p>3. 電位</p> <p>4. 物質と電場</p> <p>5. コンデンサー</p> <p>【知識及び技能】 静電気力の大きさや向きを電場から計算する。 【思考力、判断力、表現力等】 遠隔力である静電気力を、電場から理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 電場について興味を持ち、イメージを持って理解する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>遠隔力である静電気力を、電場を用い理解する。静電気の現象から、電場の性質を予想できるように取り上げる。 電場に関する知識を基に、電気素子の一つであるコンデンサーについて理解させる。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等 授業スライドの表示</p>	<p>【知識・技能】 静電気力の性質について理解し、その現象について電場から説明できるようにする。これにより、電場についての理解を深める。 【思考・判断・表現】 電場の理解を基にして、静電気の現象を説明する。 【主体的に学習に取り組む態度】 静電気の現象を、電場によって説明しようと取り組む。また、電場についてのイメージを膨らませようと努力する。</p>	○	○	○	27
	<p>定期考査</p>			○	○	○	1
	<p>第4編 電気と磁気</p> <p>第4章 電磁誘導と電磁波</p> <p>1. 電磁誘導の法則</p> <p>2. 自己誘導と相互誘導</p> <p>3. 交流の発生</p> <p>4. 交流回路</p> <p>5. 電磁波</p> <p>【知識及び技能】 エネルギーの性質と社会的なエネルギー問題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギー問題を物理的の法則へ理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に、学習内容を社会的な問題解決に利用しようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>直線的に伝わる波を中心にして、波に特有な現象・性質（波の独立性・重ね合わせの原理）を中心に理解させる。音に現れる現象を、波の性質から説明できるようにする。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等 授業スライドの表示</p>	<p>【知識・技能】 電磁誘導の現象から、地場と誘導電流（電場）の関係を理解する。簡単な実験を通じ、定量的な関係を推測する 【思考・判断・表現】 電磁誘導の現象を、イメージによって捕らえ、定量的なイメージもその中に取り入れる。 【主体的に学習に取り組む態度】 電磁誘導の簡易的な現象を観察し、そこに現れる性質（定量的な関係を含む）を見いだそうとする。</p>	○	○	○	27
<p>定期考査</p>			○	○	○	1	
3 学 期	<p>第5編 原子</p> <p>第1章 電子と光</p> <p>1. 電子</p> <p>2. 光の粒子性</p> <p>【知識及び技能】 電子の性質を、実験結果から説明する。 【思考力、判断力、表現力等】 実験結果と電子の性質の関係を論理的に説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 実験結果や現象の観察に興味を持ち、自ら現象の説明を考える。</p>	<p>・指導事項</p> <p>電磁気に関する基本的な知識を基にして、歴史的実験とその結果を理解し、そこから導かれる光や電子の性質について理解する。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等 授業スライドの表示 授業内容に関する調べ学習</p>	<p>【知識・技能】 光電効果の現象と、実験から得られる結果から、どのような推論が成り立つか理解する。その推論から、光の粒子性について理解する。 【思考・判断・表現】 光電効果の現象と、実験から得られる結果から、どのような推論が成り立つか理解する。その推論から、光の粒子性について理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験結果から得られる推論について、論理的に理解しようと努力する。</p>	○	○	○	12
	<p>第5編 原子</p> <p>第1章 電子と光</p> <p>3. X線</p> <p>4. 粒子の波動性</p> <p>【知識及び技能】 歴史的実験とその結果を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 電子の存在をどのように確認したか説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 原子の存在について論理的に説明しようとする。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <p>歴史的な原子に関する実験とその結果を知り、そこから導かれる電子や原子の性質について論理的に理解させる。 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等 授業スライドの表示 授業内容に関する調べ学習</p>	<p>【知識・技能】 ミクロな現象を調べる歴史的実験について理解をし、そこから得られる知識を知る。 【思考・判断・表現】 歴史的実験から、どのような性質が、どのような推論によって知られるようになったか理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験結果から得られる推論について、論理的に理解しようと努力する。</p>	○	○	○	15
	<p>定期考査</p>			○	○	○	1
						合計	140

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学演習α

教科：理科 科目：化学演習α 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 組～ 組
 教科担当者：野宮
 使用教科書：（東京書籍「化学基礎」）
 教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】**日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】自然の物事・現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察などを行い、得られた結果をもとに分析および考察し思考力・判断力・表現力を育む。
【学びに向かう力、人間性等】自然の物事・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学演習α の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身の回りの物質、化学変化と原子・分子、酸と塩基、酸化還元などについて理解するとともに、科学記述の発展と人間生活とのかわりについて認識を深めようとする。また、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本的な知識・技能を身に付けるようにする。	身の回りの物質、化学変化と原子・分子、酸と塩基、酸化還元などに関する事象・現象に関わり、これらの中に問題を見出し、見通しを持って実験・観察を行い、その結果を分析・考察する中で、科学的な考え方や表現方法を理解するとともに、科学的に探究する活動を通して、規則性を見出したり課題を解決したりする力を養う。	身の回りの物質、化学変化と原子・分子、酸と塩基、酸化還元などに関する事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然現象に対し、科学的に見ることができる態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1部 化学と人間生活 第1章 化学と私たちの生活 第2章 物質の状態 第2部 物質の構成 物質とその分離 熱運動と物質の三態 原子の構造と周期表 （確認問題及び実践問題演習）	分野別問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。	【知識及び技能】 ・確認問題及び実践問題演習を通して、物質とその分離、熱運動と物質の三態、原子の構造と周期表に関する知識が身についている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・物質とその分離、熱運動と物質の三態、原子の構造と周期表に関する知識を使って実践問題や実験考察問題を考える力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・入試問題や実験レポートに主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
第2章 化学結合 第3部 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 原子量 化学結合 物質と （確認問題及び実践問題演習）	分野別問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。	【知識及び技能】 ・確認問題及び実践問題演習を通して、化学結合に関する知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・物質に関する基本的計算ができる。また、実践問題や実験考察問題を考える力が身についている。	○	○		4
溶液の濃度 化学反応式と量的関係 （確認問題及び実践問題演習）	分野別問題演習授業。 さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。	【知識及び技能】 ・確認問題及び実践問題演習を通して、溶液に関する知識及び化学反応式に関する知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・濃度に関する基本的計算ができる。また、化学反応式と量的関係を理解し、実践問題や実験考察問題を考える力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・入試問題や実験レポートに主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 理科 科目 化学演習β

教科 理科 科目 化学演習β 単位数 4 単位
 対象学年級 第 3 学年 組 一 組
 後科担任者 (担当)
 使用教科書 (東京書籍 「化学 Vol.1 基礎編 Vol.2 物質編」)
 教科 理科 の目標

- 【知識及び技能】 自然の事物や現象に対する概念、原理、法則の理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な知識・技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象の中に問題を発見し、目的意識をもって観察・実験などをを行い、得られた結果をもとに分析および考察し、思考力・判断力・表現力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学演習β の目標

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を身に付け、自然の事物・現象を科学的に探究する基本的な技能を身に付けることができる。	化学的な事物・現象を観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	科学的に探究する力を養う。	科学的に探究する化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

学年	単元	単元の目標	指導項目・内容	評価規準	到達目標			配点
					知	思	感	
1 年 間	第1章 高分子化合物	<p>・高分子化合物について、天然高分子化合物と合成高分子化合物との区別ができる。</p> <p>・高分子化合物の分類と特徴を知ることができる。</p> <p>・高分子化合物の性質と用途について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>高分子化合物の分類と特徴</p> <p>多量体</p> <p>天然高分子化合物</p> <p>【実験】 天然高分子化合物</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高分子化合物の分類と特徴、構造、物性について正しく理解している。 アンプの構造について正しく理解している。 ニトロセルロースについて正しく理解している。 再生繊維について正しく理解している。 アクリル繊維について、正しく理解している。 アクリル樹脂の合成について、その過程から説明できる。 アクリル樹脂について正しく理解している。 アクリル樹脂の合成反応について正しく説明できる。 アクリル樹脂の合成反応について正しく説明している。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察に関する実験を行い、構造の物性について考えようとしている。 多量体の構造を考えた分子式を答えられる。 多量体の構造を考えた分子式を答えられる。 アクリル樹脂の構造について考えようとしている。 アクリル樹脂の構造について考えようとしている。 アクリル樹脂の構造について考えようとしている。 アクリル樹脂の構造について考えようとしている。 アクリル樹脂の構造について考えようとしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> アクリル樹脂の構造について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 アクリル樹脂の構造について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 アクリル樹脂の構造について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 	0	0	0	24
	第2章 合成高分子化合物	<p>・高分子化合物について、合成高分子化合物と天然高分子化合物との区別ができる。</p> <p>・高分子化合物の分類と特徴を知ることができる。</p> <p>・高分子化合物の性質と用途について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>合成繊維</p> <p>合成樹脂</p> <p>【実験】 合成高分子化合物</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高分子化合物の分類と特徴、構造、物性について正しく理解している。 アクリル樹脂の構造について正しく理解している。 アクリル樹脂の構造について正しく理解している。 アクリル樹脂の構造について正しく理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察に関する実験を行い、構造の物性について考えようとしている。 多量体の構造を考えた分子式を答えられる。 アクリル樹脂の構造について考えようとしている。 アクリル樹脂の構造について考えようとしている。 アクリル樹脂の構造について考えようとしている。 アクリル樹脂の構造について考えようとしている。 アクリル樹脂の構造について考えようとしている。 アクリル樹脂の構造について考えようとしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> アクリル樹脂の構造について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 アクリル樹脂の構造について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 アクリル樹脂の構造について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 	0	0	0	24
	第3章 ゴム	<p>・ゴムの分類と特徴を知ることができる。</p> <p>・ゴムの性質と用途について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>ゴム</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴムの分類と特徴について、正しく理解している。 ゴムの性質と用途について、正しく理解している。 ゴムの性質と用途について、正しく理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察に関する実験を行い、構造の物性について考えようとしている。 ゴムの性質と用途について考えようとしている。 ゴムの性質と用途について考えようとしている。 ゴムの性質と用途について考えようとしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴムの性質と用途について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 ゴムの性質と用途について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 ゴムの性質と用途について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 	0	0	0	8
定期考査					0	0	0	2
2 年 間	第4章 有機高分子化合物の合成と反応	<p>・有機高分子化合物の合成と反応について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>有機高分子化合物</p> <p>有機高分子化合物の合成と反応</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有機高分子化合物の合成と反応について、正しく理解している。 有機高分子化合物の合成と反応について、正しく理解している。 有機高分子化合物の合成と反応について、正しく理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察に関する実験を行い、構造の物性について考えようとしている。 有機高分子化合物の合成と反応について考えようとしている。 有機高分子化合物の合成と反応について考えようとしている。 有機高分子化合物の合成と反応について考えようとしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有機高分子化合物の合成と反応について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 有機高分子化合物の合成と反応について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 有機高分子化合物の合成と反応について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 	0	0	0	24
	第5章 有機高分子化合物の分解と反応	<p>・有機高分子化合物の分解と反応について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>有機高分子化合物の分解と反応</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有機高分子化合物の分解と反応について、正しく理解している。 有機高分子化合物の分解と反応について、正しく理解している。 有機高分子化合物の分解と反応について、正しく理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察に関する実験を行い、構造の物性について考えようとしている。 有機高分子化合物の分解と反応について考えようとしている。 有機高分子化合物の分解と反応について考えようとしている。 有機高分子化合物の分解と反応について考えようとしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有機高分子化合物の分解と反応について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 有機高分子化合物の分解と反応について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 有機高分子化合物の分解と反応について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 	0	0	0	24
	定期考査					0	0	0
3 年 間	第6章 金属イオンの分離と定性分析	<p>・金属イオンの分離と定性分析について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>金属イオンの分離と定性分析</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属イオンの分離と定性分析について、正しく理解している。 金属イオンの分離と定性分析について、正しく理解している。 金属イオンの分離と定性分析について、正しく理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察に関する実験を行い、構造の物性について考えようとしている。 金属イオンの分離と定性分析について考えようとしている。 金属イオンの分離と定性分析について考えようとしている。 金属イオンの分離と定性分析について考えようとしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属イオンの分離と定性分析について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 金属イオンの分離と定性分析について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 金属イオンの分離と定性分析について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 	0	0	0	24
	第7章 金属イオンの分離と定性分析	<p>・金属イオンの分離と定性分析について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>金属イオンの分離と定性分析</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属イオンの分離と定性分析について、正しく理解している。 金属イオンの分離と定性分析について、正しく理解している。 金属イオンの分離と定性分析について、正しく理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察に関する実験を行い、構造の物性について考えようとしている。 金属イオンの分離と定性分析について考えようとしている。 金属イオンの分離と定性分析について考えようとしている。 金属イオンの分離と定性分析について考えようとしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属イオンの分離と定性分析について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 金属イオンの分離と定性分析について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 金属イオンの分離と定性分析について、観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 	0	0	0	24
	定期考査					0	0	0
入試問題演習	共通テストを中心とした入試問題を解き、実践力を高める。	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学全般の知識が身に付いている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学全般の知識を主に実践問題や実験問題を考える力が身に付いている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入試問題に主体的に取り組もうとしている。 	0	0	0	24		
定期考査					0	0	0	1
入試問題演習	共通テストを中心とした入試問題を解き、実践力を高める。	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学全般の知識が身に付いている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学全般の知識を主に実践問題や実験問題を考える力が身に付いている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入試問題に主体的に取り組もうとしている。 	0	0	0	8		
定期考査					0	0	0	1
合計					0	0	0	100

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 地学演習α

教科：理科 科目：地学演習α 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 組～ 組

教科担当者：野中 悟

使用教科書：（ 数研出版 高等学校 地学基礎 ）

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】自然の物事・現象に対する概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な知識・技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】自然の物事・現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察などを行い、得られた結果をもとに分析および考察し思考力・判断力・表現力を育む。
- 【学びに向かう力、人間性等】自然の物事・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 地学演習α の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地学基礎に関する基本的な知識、技能を修得する	科学的な思考を理解し、論理的に判断・表現ができる	授業に主体的に参加し、課題に対して適切に対応し、提出物を提出できる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第1編 活動する地球 【知識及び技能】 活動する地球に関する基本的な知識、技能を身につけさせる 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な思考を理解し、論理的に判断・表現する力をつけさせる 【学びに向かう力、人間性等】 授業に主体的に参加し、課題に対して適切に対応し、提出物を提出できる 定期考査	・第1章 地球の構造 第2章 プレートの運動 第3章 地震 第4章 火山 ・教材等 教科書、プリント、スライド教材、ワークブック、一人1台端末の活用	【知識・技能】 活動する地球に関する基本的な知識、技能を修得する 【思考・判断・表現】 科学的な思考を理解し、論理的に判断・表現ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に主体的に参加し、課題に対して適切	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	第2編 移り変わる地球 【知識及び技能】 移り変わる地球に関する基本的な知識、技能を身につけさせる 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な思考を理解し、論理的に判断・表現する力をつけさせる 【学びに向かう力、人間性等】 授業に主体的に参加し、課題に対して適切に対応し、提出物を提出できる 定期考査	・第1章 地層の形成 第2章 古生物の変遷と地球環境 ・教材等 教科書、プリント、スライド教材、ワークブック、一人1台端末の活用	【知識・技能】 移り変わる地球に関する基本的な知識、技能を修得する 【思考・判断・表現】 科学的な思考を理解し、論理的に判断・表現ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に主体的に参加し、課題に対して適切	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
2 学期	第3編 大気と海洋 【知識及び技能】 移り変わる地球に関する基本的な知識、技能を身につけさせる 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な思考を理解し、論理的に判断・表現する力をつけさせる 【学びに向かう力、人間性等】 授業に主体的に参加し、課題に対して適切に対応し、提出物を提出できる 定期考査	・第1章 地球の熱収支 第2章 大気と海洋の運動 ・教材等 教科書、プリント、スライド教材、ワークブック、一人1台端末の活用	【知識・技能】 大気と海洋に関する基本的な知識、技能を修得する 【思考・判断・表現】 科学的な思考を理解し、論理的に判断・表現ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に主体的に参加し、課題に対して適切	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	第4編 地球の環境 【知識及び技能】 地球の環境に関する基本的な知識、技能を身につけさせる 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な思考を理解し、論理的に判断・表現する力をつけさせる 【学びに向かう力、人間性等】 授業に主体的に参加し、課題に対して適切に対応し、提出物を提出できる 定期考査	・第1章 地球の熱収支 第2章 大気と海洋の運動 ・教材等 教科書、プリント、スライド教材、ワークブック、一人1台端末の活用	【知識・技能】 地球の環境に関する基本的な知識、技能を修得する 【思考・判断・表現】 科学的な思考を理解し、論理的に判断・表現ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に主体的に参加し、課題に対して適切	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3 学期	第5編 太陽系と宇宙 【知識及び技能】 太陽系と宇宙に関する基本的な知識、技能を身につけさせる 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な思考を理解し、論理的に判断・表現する力をつけさせる 【学びに向かう力、人間性等】 授業に主体的に参加し、課題に対して適切に対応し、提出物を提出できる 定期考査	・第1章 太陽系と太陽 第2章 宇宙の誕生 ・教材等 教科書、プリント、スライド教材、ワークブック、一人1台端末の活用	【知識・技能】 太陽系と宇宙に関する基本的な知識、技能を修得する 【思考・判断・表現】 科学的な思考を理解し、論理的に判断・表現ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に主体的に参加し、課題に対して適切	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1組～7組男子：渡邊・永春）（1組～7組女子：佐藤・稲見・松岡）

使用教科書：（現代高等保健体育・ステップアップ高校スポーツ）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】保健や体育で得た知識と技能を活用し、生涯にわたり率先、また適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会や健康、自己の課題を発見し、適切に判断・行動ができる思考力等を高める。

【学びに向かう力、人間性等】自己の体力や健康について課題を見つけ、課題解決に向けて主体的に取り組む。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。	実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。	率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。

学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>【知識及び技能】練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	<p>オリエンテーション・スポーツテスト・体づくり（男女）</p> <p>授業の諸注意・ラジオ体操の確認、スポーツテスト（反復横とび・立ち幅跳び・長座体前屈・上体起こし・握力・ハンドボール投げ・50m走・シャトルラン）・目的に応じた運動で、心と体の調子を整える・狙いに応じた運動の組み合わせを考えて実践する</p>	<p>【知識及び技能】練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	9
	<p>【知識及び技能】練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	<p>アルティメット（男女）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルティメットルール理解 ・スローイング各種練習 ・3対2攻防練習 ・ゲームルール理解及びリーグ戦 ・実技テスト 	<p>【知識及び技能】練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	18
	<p>【知識及び技能】練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	<p>ハンドボール（男）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本練習から応用練習 ・ジャンプシュート練習 ・サイドシュート練習 ・ポストシュート練習 ・対人練習 ・ゲーム 	<p>【知識及び技能】練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	18
2 学 期	<p>【知識及び技能】練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	<p>卓球（女）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎打ちから応用練習 ・パートナーとの連携を考えた打球コース ・サーブからの3球目攻撃 ・レシーブからの4球目攻撃 ・ゲーム練習 	<p>【知識及び技能】練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	11
	<p>【知識及び技能】練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	<p>アルティメット（男）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルティメットルール理解 ・スローイング各種練習 ・3対2攻防練習 ・ゲームルール理解及びリーグ戦 ・実技テスト 	<p>【知識及び技能】練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	10
	<p>【知識及び技能】練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	<p>卓球（男・女）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前転、後転、開脚前転、開脚後転、倒立、伸膝前転、伸膝後転。 ・実技テストに向けての個人練習 	<p>【知識及び技能】練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	21
	<p>【知識及び技能】練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。</p>	<p>持久走（男女）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4km走（女子）、5km走（男子）タイムトライアル 	<p>【知識及び技能】練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。</p>	○	○	○	7

	課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。		練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。	○	○	○	・
3 学 期	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。	持久走（男女） ・4km走（女子）、5km走（男子）タイムトライアル	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。	○	○	○	7
	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。	体育理論（男女） ・健康の保持増進に寄与するトレーニング理論 ・生涯スポーツの取り組み方	【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。	○	○	○	4
							合計 105

高等学校 令和6年度（3学年用）

外国語

英語コミュニケーションⅢ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅢ

単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 1組～7組

教科担当者：（1組：内田）（2組：坂江）（3組：入倉）（4組：中谷）（5組：坂江）（6組：青柳）
（7組：入倉）

使用教科書：（CREATIVE English CommunicationⅢ（第一学習社））

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】

英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
Lesson1 Fast, Safe, and Efficient!	<題材内容とねらい> ・日本・世界の高速鉄道の発達についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・鈍行列車のよい点を述べたエッセイを読み、本文と読み比べ、高速鉄道と鈍行列車のどちらが好きか自分の考えを述べることができる。	<文型・文法事項> ・分詞構文の否定形について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <場面・状況など> ・聞き手に配慮して、自分が好きな交通機関とその理由について説明しようとしている。	○	○	○	14
Lesson 2 Water for Life	<題材内容とねらい> ・世界の水問題を解決しようとする日本の井戸掘り技術についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・クラウドファンディングサイトを読み、本文と読み比べ、どの組織を支援したいか自分の考えを述べるすることができる。	<文型・文法事項> ・無生物主語について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <場面・状況など> ・聞き手に配慮して、水問題についてのプレゼンテーションをしようとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○	○	1
Lesson 3 Athletes as Human Rights Leaders	<題材内容とねらい> ・アスリートが発する社会的なメッセージについての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・オリンピック憲章の条項を読み、本文と読み比べ、条項を改定すべきか自分の考えを述べることができる。	<文型・文法事項> ・進行形の受け身について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <場面・状況など> ・オリンピック憲章についてのディベートをしようとしている。	○	○	○	13
Lesson 4 The Linguistic Genius	<題材内容とねらい> ・赤ちゃんの言語習得についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・実験説明のスク립トを読み、本文と読み比べ、ある説を証明するのに適した実験を選んで具体的に説明できる。	<五領域の知識・技能> ・会話における音の変化について理解を深めることができる。 <場面・状況など> ・外国語を学習する目的について複数のパラグラフで書こうとしている。	○	○	○	13
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	Lesson 5 Going Digital: What Does the Digital Age Bring?	<題材内容とねらい> ・社会のデジタル化についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・紙の文書のよさを伝えるブログを読み、本文と読み比べ、デジタル化された文書と紙の文書のどちらが好きか自分の考えを述べることができる。	<五領域の知識・技能> ・イギリス英語のスプリングについて理解を深めることができる。 <場面・状況など> ・電子書籍と紙の書籍についてのディベートをしようとしている。	○	○	○	13
	Lesson 6 Mirrors of the Times	<題材内容とねらい> ・人類と病気の戦いの歴史についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・人物の伝記を読み、本文と読み比べることで理解を深め、その人物の説明を書くことができる。	<五領域の知識・技能> ・ダッシュの用法について理解を深めることができる。 <場面・状況など> ・生活様式を環境に合わせることに複数パラグラフで説明しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	Lesson 7 Eat Well, Play Well!	<題材内容とねらい> ・スポーツ栄養についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・レシピを読み、本文と読み比べ、ほかに付け加えるべき料理や食材について、自分の考えを説明することができる。	<五領域の知識・技能> ・コロナとセミコロナの用法について理解を深めることができる。 <場面・状況など> ・自分でレシピを考え、それがどのように体によいかを書こうとしている。	○	○	○	14
	Lesson 8 The Bridge to the Science World	<題材内容とねらい> ・橋の構造と役割についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・橋の建築計画を聞き、本文の情報と比較し、どの地点にどの橋が適しているか、自分の考えを説明することができる。	<文型・文法事項> ・形容詞で始まる分詞構文について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <場面・状況など> ・特徴的な建築物の紹介をしようとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	Lesson 9 Notorious RBG	<題材内容とねらい> ・ギンズバーグ判事の生涯についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・ギンズバーグ判事が実際に関わった判例を読み、本文と読み比べ、彼女が目指したものについて、自分の考えを説明することができる。	<文型・文法事項> ・if...以外が条件を表す仮定法について理解を深めることができる。 <場面・状況など> ・男女差別について例を挙げ、自分の考えを複数のパラグラフで書こうとしている。	○	○	○	14
	Lesson 10 No Rain, No Rainbow	<題材内容とねらい> ・三代達也さんの生き方についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・上地結衣選手のインタビュー記事を読み、本文と読み比べ、三代さんと上地選手の共通点について、やり取りして伝え合うことができる。	<文型・文法事項> ・否定語を含まない否定について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <場面・状況など> ・バリアフリーの環境が大切な理由について、自分の考えをプレゼンテーションしようとしている。	○	○	○	13
							合計
							140

高等学校 令和6年度 (3学年用) 教科 外国語 科目 論理表現Ⅲ

教科：外国語 科目：論理表現Ⅲ 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：(1, 2 組：山岡・福山・内田) (3, 4 組：福山・内田・深田) (5, 6 組：内田・山岡・福山) (7 組：深田・勝山)

使用教科書：(MY WAY Logic & Expression III [三省堂])

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くこと
 【思考力、判断力、表現力等】 五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一
 【学びに向かう力、人間性等】 体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。

科目 論理表現Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語で目的や場面、状況などに応じ、論理的に意見や情報を伝えるための知識・技能を身につけている。	外国語で目的や場面、状況などに応じ、情報を整理しながら表現する力を身につけている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。

単元	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	Lesson1 Lesson2	・動詞の種類 ・時制の一致と語法 (調査結果の発表/メールを送る)	・時制を正しく理解し、文章表現ができる。 ・動詞を適切に用いて表現ができる。 ・助動詞の基本用法が理解できる。	○	○	○	8
	Lesson3 Lesson4	・助動詞 ・不定詞 ・動名詞 (ブログを書く/会話で説明)	・助動詞の基本用法が理解できる。 ・不定詞の用法を正しく理解し、適切に文章化できる。 ・動名詞をふくむ慣用表現を書いたり、会話の中で使える。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	Lesson5 Lesson6	・分詞 ・分詞構文 ・比較 (会話で推薦/企画の提案)	・名詞を修飾する分詞、補語の働きをする分詞が理解できる。分詞構文が理解できる。 ・比較表現を原級・比較級・最上級全てを理解して、言語表現できる。 ・原級比較の基本と倍数表現が理解できる。比較級表現の基本が理解できる。	○	○	○	8
	Lesson7 Lesson8	・関係詞 ・仮定法 (意見の発表/招待メッセージの作成)	・関係代名詞のwhatが理解できる。目的格の関係代名詞の省略が理解できる。 ・仮定法を正しく理解して、適切に文章化できる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	Lesson9 Lesson10	・名詞 ・代名詞 ・前置詞 ・接続詞 (解決策の提案/未来について発表)	・疑問詞の基本的用法が理解できる。 ・間接疑問と語順が理解できる。 ・部分否定と全体否定が理解できる。	○	○	○	16
	・1年間総復習	・動詞の語法 ・動詞、形容詞、名詞、副詞とその周辺 ・関係詞、接続詞、前置詞	・不定詞、動名詞のどちらを目的語にとるか理解できる。目的語が不定詞と動名詞で意味が異なる動詞を理解することができる。 ・自動詞、他動詞を見分けることができる。 have+0+done / have+0+doを含む文が理解できる。	○	○	○	14
3 学 期	・共通テスト対策	・イディオム ・様々な語法	・語句定義、発言要約、文章空所補充、文整序、文補充等の問題を解き、問題の形式に慣れるとともに、与えられた時間で問題を解くことができる。	○	○	○	8
							合計 70